

助成受給団体	南相馬地区防犯協会連合会
事業の名称	仮設住宅居住者による自主防犯パトロール隊の活動支援事業
実施期間	平成24年6月7日 ～ 平成25年2月28日
事業内容 <p>平成23年3月に発生した東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所の事故により、当防犯協会連合会の管内に設置された応急仮設住宅において、避難生活を余儀なくされている住民が、それぞれの仮設住宅内での犯罪被害の未然防止と、孤立しがちな仮設内の住民との連帯感の醸成を図ろうと、仮設住宅に居住する住民による自主防犯パトロール隊が順次結成された。</p> <p>結成された自主防犯パトロール隊の活動を支援するため、事前に防犯活動用キャップ、反射ベストについては300セット、サインライトについては120本を購入して準備し、各仮設住宅の自治会に対して、当協会による活動資器材を支援することを広報して、パトロール隊の結成に向けた働きかけを行うとともに、各仮設住宅ごとのパトロール隊が結成された都度、物品の交付を行い活動の支援を行った。</p> <p>平成25年2月28日現在 仮設住宅6箇所にて193名</p>	
事業の成果 <p>統一した帽子やチョッキを着用してのパトロールを行えることで、パトロールの効果が上がるとの隊員からの感想が有るほか、仮設住民からもみんなで仮設住宅内の見守りをやってもらっている、安心感が高まったと、活動が目に見える状態で行われていることへの感謝の声も出ている。</p> <p>仮設住宅内での自主パトロール活動を物品の交付により支援していることで、まだ、未設置の仮設住宅でも、パトロール隊設置の機運が高まっており、今後仮設住宅内での自主パトロール隊の発足と自主防犯活動への意識作りと住民同士の絆づくりに大きな効果があった。</p>	
今後の課題 <p>当署仮設住宅ごとに10名前後のパトロール隊員の数を予想していたが、小規模の仮設では住民のほぼ全員がパトロール隊に参加するなど、当初予想していた仮設ごとの支援品の交付個数を超えている状況であるため、管内の全仮設に対する支援が難しい状況である。</p>	

